

令和7年度 活動予算書

法人成立の日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人とうぎやざー

科目	金額 (単位:円)
I 経常収益	
1 受取会費	
正会員受取会費	100,000
賛助会員受取会費	0
	0
2 受取寄附金	
受取寄附金	100,000
施設等受入評価益	0
	0
3 受取助成金等	
受取民間助成金	0
	0
4 事業収益	
障害者の就労支援に関する事業収益	
就労継続支援事業所等への業務提供及び作業機会の創出に関する事業収益	0
	0
5 その他収益	
受取利息	0
雑収入	0
	0
経常収益計	200,000
II 経常費用	
1 事業費	
(1) 人件費	
給料手当	0
法定福利費	0
退職給付費用	0
福利厚生費	0
	0
人件費計	0
(2) その他経費	
会議費	0
旅費交通費	0
施設等評価費用	0
減価償却費	0
支払利息	0
	0
その他経費計	0
事業費計	0
2 管理費	
(1) 人件費	
給料手当	0
役員報酬	0
法定福利費	0
福利厚生費	0
	0
人件費計	0
(2) その他経費	
会議費	0
旅費交通費	0
施設等評価費用	0
減価償却費	0
支払利息	0
	0
その他経費計	0
管理費計	0
経常費用計	
当期経常増減額	0
III 経常外収益	
1 固定資産売却益	
2	
経常外収益計	200,000

IV 経常外費用		
1 過年度損益修正損		
2		
経常外費用計		
当期正味財産増減額	200,000	
前期繰越正味財産額 (設立時正味財産額)	0	
次期繰越正味財産額	200,000	

(備考)

- 設立当初の事業年度及び翌事業年度の活動予算書はそれぞれ別に作成する。
- 設立時の資産がある場合は、設立当初の事業年度に設立時正味財産額としてその額を記載する。翌事業年度以降は、前年度の活動予算書に次期繰越正味財産額として掲げた額を、前期繰越正味財産額として記載する。
- 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する人件費及びその他の経費で、管理費以外のものをいう。事業の種類ごとの費用を表示する場合には、注記において区分して記載

令和8年度 活動予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

特定非営利活動法人とうぎやざー

科目	金額 (単位:円)
I 経常収益	
1 受取会費	
正会員受取会費	100,000
賛助会員受取会費	0
	0
2 受取寄附金	
受取寄附金	100,000
施設等受入評価益	0
	0
3 受取助成金等	
受取民間助成金	0
4 事業収益	
障害者の就労支援に関する事業収益	900,000
就労継続支援事業所等への業務提供及び作業機会の創出に関する事業収益	400,000
	0
5 その他収益	
受取利息	0
雑収入	0
	0
経常収益計	1,500,000
II 経常費用	
1 事業費	
(1) 人件費	
給料手当	0
法定福利費	0
物件取得費	0
備品・消耗品費	700,000
	600,000
	0
人件費計	1,300,000
(2) その他経費	
会議費	0
旅費交通費	30,000
施設等評価費用	0
減価償却費	0
支払利息	0
	0
その他経費計	1,330,000
事業費計	
2 管理費	
(1) 人件費	
給料手当	0
役員報酬	0
法定福利費	0
福利厚生費	0
	0
人件費計	0
(2) その他経費	
会議費	40,000
旅費交通費	50,000
施設等評価費用	0
減価償却費	0
支払利息	0
	0
その他経費計	90,000
管理費計	
経常費用計	
当期経常増減額	1,420,000
III 経常外収益	
1 固定資産売却益	
2	
経常外収益計	80,000

IV 経常外費用		
1 過年度損益修正損		
2		
経常外費用計		
当期正味財産増減額		80,000
前期繰越正味財産額 (設立時正味財産額)		200000
次期繰越正味財産額		280,000

(備考)

- 設立当初の事業年度及び翌事業年度の活動予算書はそれぞれ別に作成する。
- 設立時の資産がある場合は、設立当初の事業年度に設立時正味財産額としてその額を記載する。翌事業年度以降は、前年度の活動予算書に次期繰越正味財産額として掲げた額を、前期繰越正味財産額として記載する。
- 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する人件費及びその他の経費で、管理費以外のものをいう。事業の種類ごとの費用を表示する場合には、注記において区分して記載